

## シシラ・ワニナヤケ研究員（スリランカ）



はじめまして。私はスリランカから来日いたしました、シシラ・ワニナヤケと申します。私は同国の防災人権省国家災害管理局（DMC）に所属し、クルネガラ県（Kurunegala District）の事務所で局長補佐を担当しています。DMCは、スリランカ国の防災省の管轄下に位置していて、災害管理を全般的に取り扱う機関です。DMCに勤務する以前は、土地利用の政策に関する部署に8年間勤めていました。また学生生活においては、1996年にスリランカのペラデニヤ（Peradeniya）大学において地理学課程を卒業し、その後、2006年に天然資源管理に関する修士号を同大学で取得しました。また、2010年には自然災害管理に関する修士課程において、研究調査を行ってきました。

近年、スリランカにおける災害数の増加に伴って、スリランカ政府は将来発生が予測される自然及び人的災害から、人名及び財産の損失を最小限に抑えることを目的に、災害管理システムの整備拡張に着手しました。その結果、2005年5月13日に災害管理法が制定され、スリランカ国立防災センター（NDMC）とDMCが、この法の規定に従って、災害対応機関として設立されました。DMCは「スリランカにおける安全なまちづくりと継続的な開発」を主たる目的として設定しています。また、それぞれのミッションは「自然、科学技術、人的災害のリスクにおける組織的な管理を通して、地域から国家を通して安全な文化を構築する」ことを目標としています。私はこれらの基本的概念のもとで、担当地域のクルネガラ県において業務を遂行し、多くの防災活動を実施しています。

ADRCの客員研究員プログラムは、私と私の国にとって、日本の災害対策について学ぶことができる大変すばらしい機会です。災害管理における日本の役割は、悲劇的な災害を直面する際に多くの経験や知識が活用されることが特に印象的です。私が滞在する間にこれらの経験を学び、また、多くの学生や地元の人たちと交流を行い、様々な行事や食文化などを通して、日本の文化に触れることを期待しています。

最後に、このような素晴らしい機会を与えて頂いたADRCとスリランカ政府およびDMCの皆様改めて感謝を申し上げます。